

# 施策評価シート（平成29年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	1-4	政策名	観光の振興	政策の 目指す姿	国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています	施策 主管課	観光課	施策主管 課長名	富澤 秀和
	施策No.	1	施策名	観光の魅力向上	施策の 目指す姿	花巻にしかない魅力ある観光資源がたくさんあります	関係課名	地域振興課（大迫・石鳥谷）		
	現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域で受け継がれているまつりを支える後継者や参加者が減少し、開催に支障をきたす可能性があります。</li> <li>・温泉や宮沢賢治をはじめとして豊富な観光資源を有している中、観光客ニーズが多様化し、広域的な周遊観光や体験型観光メニュー等が求められています。</li> </ul>							

## ◎ 前年度の評価の振り返り

### （前年度評価時の今後の方向性）

- ・各地域で行われるまつりの今後の在り方等について、引き続き、地域の皆さんとの話し合いを通じて意思疎通を図る。
- ・花巻・遠野・平泉が連携して行う誘客事業や体験型観光メニューの創出、改良への支援を行う。

### （反映状況）

- ・まつりや伝統的な行事を支える後継者が不足しているなどの課題は解決できておらず、今後のまつりのあり方や市の支援について、引き続き主催団体や地域の方々との話し合いを行った。
- ・花巻・遠野・平泉観光推進協議会が行う誘客事業や市内事業者による体験型観光メニューの創出、改良への支援を行うとともに、効果的な情報の発信となるよう検討した。

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

### (1)観光資源の充実

- 魅力あるイベントの開催支援
  - ・観光資源としての魅力向上の観点から、各地域における祭りやイベントの開催に対する支援
- 体験型観光メニューの創出、充実の支援
  - ・見る観光から体験、体感ができる観光メニュー創出、改良に係る経費に対する支援
- 観光資源としてのお土産（特産品）の普及宣伝
  - ・イベントや旅行説明会等での食材やお土産品の宣伝
- 観光施設の整備
  - ・ホテルベルンドルフの屋根改修工事、大迫ふるさとセンターの耐震診断、同心屋敷（旧平野家）のかやぶき屋根の葺き替えの実施

### (2)広域観光の推進

- 遠野、平泉をはじめとする県内外の市町村との連携による広域観光の推進
  - ・花巻遠野平泉観光推進協議会をはじめ、広域連携による観光客誘致に係る事業に対する支援

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
観光施設、イベントの入場者数 (国基準に基づき、暦年集計)	観光施設、イベントに魅力を感じて訪れた観光客とし、市が管理する施設への入館者・イベントへの入場者数	毎月調査、報告している観光統計数値(国基準に基づく調査) 出典:花巻市観光課	万人	目標値	-	-	107.5	109.0	109.3	109.7
				実績値	105.8	108.1	113.4	111.0		
広域(花巻・遠野・平泉)観光客入込者数 (国基準に基づき、暦年集計)	近隣自治体との広域連携による周遊観光に力を入れていることから、連携している花巻、遠野、平泉を訪れる観光客数を指標に設定	毎月調査、報告している観光統計数値(国基準に基づく調査) 出典:岩手県観光課、花巻市観光課	万人	目標値	-	-	582.8	584.4	586.1	587.7
				実績値	578.8	580.9	574.8	584.9		
				目標値						
				実績値						

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>■成果指標「観光施設、イベントの入場者数」・・・【達成度a】 イベントの入場者数は、天候の影響や他イベントとの重複などにより、イベントごとの増減はあるものの総体的には大きな変動はなかった。一方で、観光施設の入場者数は、外国人観光客誘致に向けた現地での旅行会社へのプロモーションなどが功を奏し、ワインシャトー大迫や酒匠館など、数は少ないものの着実に増加しており、市内での周遊が進んでいる。</p> <p>■成果指標「広域(花巻・遠野・平泉)観光客入込者数」・・・【達成度a】 前年比101.8%、目標値を上回る結果となった。3市町の観光協会で構成する花巻・遠野・平泉観光推進協議会を通して同エリアへの周遊観光を売り込んだ成果が徐々に表れており、3市町連携による国の東北観光復興対策交付金を活用した外国人観光客の誘致に向けたプロモーションの効果も一つの要因と考える。</p>

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結度	
1	農村施設維持事業 施設の長寿命化と観光客等の安全・安心の確保 (ホテルベルンドルフ屋根改修工事 17,350千円、大迫ふるさとセンター耐震診断 1,566千円)	大)地域振興課	一致	直結	-
			A		
2	観光イベント開催事業 各地域における祭りやイベントの開催に対する支援 (支援イベント数 13件、支援イベント入込者数 315,281人)	観光課	一致	直結	B
			A		
3	広域観光振興事業 北上市との連携による産業観光パンフレットの作製、釜石線沿線活性化委員会及び花巻・遠野・平泉観光推進協議会等が行う誘客事業及び体験型観光メニューの創出・改良への支援 (産業観光パンフ 2,000部+花巻・遠野・平泉観光推進協議会パンフ 5,500部=広域パンフ 7,500部、体験型観光メニュー創出・改良支援 4件)	観光課	一致	直結	B
			A		
4	観光施設維持事業 施設の長寿命化と観光客等の安全・安心の確保 (同心屋敷(旧平野家)かやぶき屋根の葺き替え 24,667千円)	観光課	一致	直結	-
			A		

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

・なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・体験・体感できるなど観光メニューの充実や多様化への支援やそれらのメニューを集約した宣伝が必要である。

(新たに取り組むべき事業はないか)

・なし

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・まつりやイベントを支える後継者の確保や将来的なあり方の検討と共通認識が必要である。
- ・広域的な周遊観光を進めるうえで、他自治体等との連携と観光客ニーズに対応でき得る体験型観光メニューの拡充が必要である。

(今後の方向性)

- ・まつりやイベントの主催団体等の意見を集約し、今後のあり方を共通認識するとともに役割分担が図られるよう支援する。
- ・広域連携による周遊観光と体験型観光メニューの情報を集約し、旅行会社等へのさらなる情報発信を図る。